

「お絵描きワークショップ」

— “まねっこ” して描いてみよう！ —

先生の絵の描き方をみて、“まねっこ”して描いてみよう！ という「お絵描きワークショップ」を8月21日に行いました。7人の小学生が参加。講師は地域作業所のカプカプ川和でも働いている藤原直美先生。

事前に顔の絵を描くとのテーマが示されていて、まずは藤原先生が描き方を実演します。先生は、「上手に色を塗るには四角くマスを作って塗るのがおすすめ」として描いていきます。

実演を見た後は、いよいよお絵描き開始。布の上に三色のポスカで顔の絵を描いていきます。自分の顔や兄弟の顔など、それぞれ描きたい顔の写真をしながら描いていきます。中には飼っている犬の顔を描いた子もいました。また、顔だけでなく、まわりに模様や名前を入れたりして楽しく仕上げました。

描き終わったら、布を袋状に縫ってもらい、中に綿を詰めると、顔が描かれたマスコットの完成。

縫う工程は、加賀原地域ケアプラザのスタッフとボランティアさんにやっていただきましたが、ミシン掛けの様子に食い入るように見ている子も。

最後にそれぞれの作品を紹介して終了。みんな上手に描けました！

今回のワークショップは、カプカプ川和、加賀原地域ケアプラザの全面的な協力で実施することができました。ありがとうございました。



藤原先生とカプカプ川和・石井所長



実演する藤原先生



先生がまわってアドバイス



それぞれ顔を描きます



ミシン掛けにも興味あり



最後に作品紹介